

春の雨、晴れ間のうちに畔固め

あさげ新聞



あさげの里もいよいよ田植えの時期が近づいてきました。
モグラ達が開けた穴から水が漏れ、除草剤や肥料の効果が低下しないように田んぼの畔塗りを行いました。
(右の写真は、トラクターに取り付けた畔塗りの機で田んぼの畔を塗り固めています。)

1. 稲作事業

- ・土壌改良用肥料の施肥と耕起
- ・白毛餅種籾の催芽と粃時き
- ・水田の畔塗り
- ・JAコシヒカリ苗を育苗床に整列

2. 園芸事業

【ほおずき栽培】

- ・ほおずき畑の除草と植え直し

【野菜栽培】

- ・キャベツ、レタス、カボチャ定植
- ・夏野菜用畑へ施肥と耕起

【トウモロコシ栽培】

- ・マルチ掛け(カエルくち使用)
- ・一期、二期あんみつ姫定植

3. 薬草事業



【センブリ栽培(2次)】

- ・センブリ畑の畝間除草

4. 山菜事業

- ・わらびの採集と販売

5. 蕨細工事業

- ・ネットショップ向け小物の制作

6. その他

- ・トラクター三十三馬力納車
- ・五条植え田植え機納車
- ・新入社員実習(センブリ畑の除草と排水溝掘り)

【今年入社された新しい仲間たち】

地域共生推進室 発行
【19号】
2022年5月9日発行

ご意見・質問は下記のメールまでどうぞお寄せ下さい。採用された方には旬の野菜をプレゼント！

mail ;
ta-hara@koaglobal.com

稲作事業 「土づくり」

四月五日、田んぼ十七枚、面積にすると一町五反歩へ土壌改良肥料(稲のめぐみ)を施肥しました。
新野の田んぼは、ぬかるんでおり足元が悪いので、重たい肥料を持って歩く足が抜けず大変な作業となりました。近所の方から「手で撒くのは大変だねエ・・・」と励ましていただきました。あさげの里では近々ドローンの導入を計画しており、肥料撒きも自動化を進めます。
【ぬかるむ田んぼの肥料撒き】



「白毛餅粃時き」

四月七、十五日の予定で消毒した白毛餅種籾の催芽を行いました。
水温管理を自動で行う催芽機で、累積温度百℃で浸種を行い、十五日に催芽しました。当初、土日の休日で三十二℃に水温を上げて催芽をする予定でしたが、気温が高く温度を上げずに自然に催芽ができました。
四月十八日、催芽した種籾の粃時きを行いました。
昨年までは、あさげの里メンバー

のミノル式ポット苗用トレーをお借りして粃時きをしていましたが、今年は箱苗トレー用の機械を導入して粃時きを行いました。
粃時き機は、今年初めての導入した機械ですので、最初は慎重に種籾をトレーに撒く量を、仕様通りの二百グラムに計量して撒き始めました。しかし、バラツキが多いため調整しながら撒いた結果、箱当たり三百五十グラムになりました。種籾は、二十キロ用意しておきましたが、危うく足りなくなるところでした。
朝九時から始め、午前中で九十枚の箱苗が無事出来上がりました。
【今年導入した催芽機】



【今年導入した粃時き機】



園芸事業

「野菜栽培」

四月六日、天候にもめぐまれキャベツ二百四十四本とレタス四百三十五本を定植しました。
定植から防虫ネット張りの作業を、キャベツ班とレタス班に分かれ行いました。前半はキャベツ班が順調に作業を行っていましたが、キャベツ

用の支柱の長さを間違えて作業したため、最初からやり直すことになりました。最後は皆で協力して仲良く作業を終えました。
六月末には、美味しいキャベツとレタスがおせんしょ市場に提供できる予定です。
【防虫ネットを張ったキャベツ畑】



「とうもろこし栽培」

四月二十、二十一、二十八日と七月初旬と中旬の「蔵」向け出荷を目指し、第一期・あんみつ姫、第二期・甘太郎と分けて苗を一万一千本定植しました。
一年ぶりの三反歩のとうもろこし畑の作業になりましたが、畝長百メートル十七畝の定植はさすがに大変でしたが、薬工房職人の支援もあり、予定通り終了しました。
【とうもろこし苗の定植】



山菜事業

今年、山菜の売上を充実しようとして、昨年からメンバーの山の下草刈りを行い、山には「立ち入り禁止」の看板を立て、大量収穫に向け準備をしてきました。

農機具導入

今年、新規導入した農機具です。
トラクターは、JGAP認証対応で作業を自動記録する優れモノです。
【三十三馬力トラクター】



【五条植え田植え機】



「苗購入のお礼」

「あさげの里産苗」ご購入ありがとうございました。
定植後の霜よけ・虫よけ困い事例を示します。今後の参考にして下さい。



朝八時、山に集合し三十分程でゴ七杯採集しました。新調した選別治具で長さを揃え、一束二百グラム四十四束を「蔵」へ納品しました。
【急斜面でのわらび取り】